

プログラム

09:25～09:30

開会式

第60回学術研究会会長 森本 泰夫

(産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学研究室)

09:30～10:30

特別講演1

座長：森本 泰夫 (産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学研究室)

肺がん罹患予防としての血清KL-6値は？：インジウム取り扱い作業者のコホート研究から

演者：中野 真規子 (独立行政法人労働者健康安全機構

労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理研究センター 疫学研究部)

10:40～12:00

一般演題 1

座長：鈴木 拓児 (千葉大学大学院医学研究院 呼吸器内科学)

坂上 拓郎 (熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器内科学講座)

01 IL-13により誘導した気道上皮杯細胞の分化に対する清肺湯の抑制作用

○磯濱 洋一郎^{1) 2)} 石橋 紀香¹⁾ 村上 一仁¹⁾ 菅谷 柁²⁾

1) 東京理科大学薬学部・応用薬理学研究室

2) 小林製薬株式会社ヘルスケア事業部

02 間葉系幹細胞由来液性因子Stanniocalcin-1 (STC-1) によるIL-6アンプ抑制機序の検討

○大河内 眞也¹⁾ 兼平 雅彦²⁾ 色川 俊也¹⁾ 小川 浩正¹⁾ 岡田 克典³⁾ 黒澤 一¹⁾

1) 東北大学大学院 医学系研究科産業医学分野

2) 山梨大学 資源開発分野

3) 東北大学 呼吸器外科学分野

03 アスベスト誘発性肺線維症における破骨細胞様細胞の関与

○田中 悠祐¹⁾ 高橋 有毅^{2) 3)} Frank McCormack²⁾ 千葉 弘文¹⁾

1) 札幌医科大学 呼吸器・アレルギー内科

2) Division of Pulmonary, Critical Care and Sleep Medicine,
The University of Cincinnati, School of Medicine

3) 札幌医科大学 呼吸器外科

04 アクリル酸系高分子化合物の肺障害における物理化学的特性の影響

○森本 俊規¹⁾ 和泉 弘人²⁾ 中村 佑生子²⁾ 佐藤 和真²⁾ 東 泰幸¹⁾ 友永 泰介²⁾
西田 千夏³⁾ 森本 泰夫²⁾ 矢寺 和博¹⁾

1) 産業医科大学 呼吸器内科学

2) 産業医科大学 呼吸病態学

3) 産業医科大学 労働衛生工学

05 ぶたを用いた肺疾患研究プラットフォームの創設

○山野 荘太郎¹⁾ 梅田 ゆみ¹⁾

1) 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所

12:10~13:00

ランチョンセミナー

座長：諏訪部 章（新東京病院 臨床検査部）

メイラード反応を利用した新規治療候補薬の開発

演者：宮崎 泰成（東京科学大学 呼吸器内科）

共催：和興フィルタテクノロジー株式会社

13:00~13:25

総会

13:30~14:00

特別講演2

座長：高橋 弘毅（社会医療法人即仁会北広島病院）

中等・重症自己免疫性肺胞蛋白症に対するサルグラモスティム吸入療法の特定臨床研究に基づく治療アルゴリズムの提案

演者：中田 光（新潟大学医歯学総合病院 高度医療開発センター
先進医療開拓部門）

14:00~15:00

教育セミナー 1

座長：田澤 立之（東京科学大学 保健管理センター）

1 若年発症難治例に対するGM-CSF吸入療法

○田中 博之¹⁾ 深見 正弥¹⁾ 天野 瞳¹⁾ 松原 彩子¹⁾ 片野 拓馬¹⁾ 米澤 利幸¹⁾ 太田 航貴²⁾
村瀬 博季²⁾ 山口 悦郎¹⁾ 伊藤 理¹⁾

1) 愛知医科大学 呼吸器・アレルギー内科

2) 愛知医科大学 小児科

2 移植後再発例に対するGM-CSF吸入療法

○石本 裕士¹⁾ 坂本 憲穂¹⁾ 中田 光²⁾ 迎 寛¹⁾

1) 長崎大学病院 呼吸器内科

2) 新潟大学医歯学総合病院 高度医療開発センター 先進医療開拓部門

3 自己免疫性肺胞蛋白症におけるGM-CSF吸入治療後の長期観察研究 ～Real PAP History研究～

○吉田 知栄子

熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器内科学講座

4 難治例に対する治療戦略の立て方

○石田 学

杏林大学医学部 呼吸器内科学

共催：ノーベルファーマ株式会社

15:10~16:10

教育セミナー 2

座長：須田 隆文（浜松医科大学 内科学第二講座）

間質性肺疾患診療におけるバイオマーカー測定の有用性

演者：千葉 弘文（札幌医科大学医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座）

共催：積水メディカル株式会社

16:20~17:20

一般演題 2

座長：藤田 昌樹（福岡大学医学部 呼吸器内科）

石井 晴之（杏林大学医学部附属病院 呼吸器内科）

06 自己免疫性肺胞蛋白症において5年以上の長期経過で血清抗GM-CSF濃度は低下傾向を示す

○新井 徹¹⁾ 初田 和由¹⁾ 井上 義一¹⁾²⁾ 広瀬 雅樹¹⁾

1) 国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 臨床研究センター

2) 大阪府結核予防会 大阪複十字病院 内科

07 自己免疫性肺胞蛋白症に対するGM-CSF吸入療法後の寛解維持について

○田澤 立之¹⁾ 大河内 眞也²⁾ 中田 光³⁾

1) 東京科学大学 保健管理センター

2) 東北大学大学院医学系研究科 産業医学分野

3) 新潟大学医歯学総合病院 高度医療開発センター 先進医療開拓部門

08 抗GM-CSF抗体が著明高値を呈した慢性リンパ性白血病に続発した自己免疫性肺胞蛋白症の一例

○渡邊 菜摘¹⁾ 谷野 功典¹⁾ 二階堂 雄文¹⁾ 佐藤 佑樹¹⁾ 東川 隆一¹⁾ 王 新涛¹⁾
福原 奈緒子¹⁾ 中田 光²⁾ 柴田 陽光¹⁾

1) 福島県立医科大学病院 呼吸器内科学講座

2) 新潟大学医歯学総合病院 高度医療開発センター 先進医療開拓部門

09 ヒト肺サーファクタント由来粘膜アジュバントSF-10混合新型コロナワクチン経気道投与は長期免疫を誘導した

○木本 貴士¹⁾²⁾ 堺 聡子²⁾ 亀田 桂子²⁾ 高橋 悦久²⁾ 澤淵 貴子²⁾ 木戸 博²⁾

1) 神戸学院大学薬学部 衛生化学研究室

2) 徳島大学 先端酵素学研究所 生体防御病態代謝研究分野

17:20~17:25

閉会式

第60回学術研究会会長 森本 泰夫

（産業医科大学 産業生態科学研究所 呼吸病態学研究室）